



会報



RIテーマ

クラブ 会長テーマ
『協調とおもいやり…そして分かちあいの心を』

2007-10-23 第 8 1 1 回例会 NO. 18-16 2007-10-31 発行

多摩東グループインターシティミーティング

日 時：2007年 10月 23日 (火)

場 所：京王プラザホテル多摩

第 1 部・第 2 部 白鳳

懇親会 アポロの間

<第 1 部>

◎司会 遠藤 二郎、杉野志保子

◎開会点鐘 ガバナー補佐 赤尾 恭雄
国歌斉唱・ロータリーソング『奉仕の理想』
ソングリーダー 菊池 敏

開会挨拶 ガバナー補佐 赤尾 恭雄



記念品贈呈 ガバナー補佐 赤尾 恭雄
2006-2007 年度 ガバナー補佐 原 忠昭様
" グループ幹事 相馬 郁男様

歓迎挨拶 会長 村上 久

来賓・参加クラブ紹介 ガバナー補佐 赤尾 恭雄

◎ガバナー挨拶

坂本 俊雄ガバナー



◎基調講演 テーマ「がんと闘う子供たち」
聖路加国際病院副院長 小児科部長
(財)「がんの子供を守る会」副理事長
細谷 亮太 先生



大人のガンは「癌」であり、子供のガンは「肉腫」
なんです、癌は外界に接しているところからでるもの
で皮膚とかなんです、肝臓とかも口から入っておし
りに抜ける消化管から派生した臓器のため、外側に接
しているといえます、肉腫は筋肉とか骨とか脳とかク
ローズの場所から出ます、子供のがんは転移してい
ても薬でなおせることが多いんです。
子供へのがんの話で一番重要なのは、「うそ」をつか
ない、ということです。うそをつくとそのうそのために、

またうそをつく繰り返しとなって、子供にも解ってしまうこととなります。森鷗外の「千恵袋」の中でも「白糸のままなる小児の本能は能く誠と誠ならざる弁す」とあり、子供と接する時の注意が記されております。先天性の病気で「ダウン症」というのがありますが、これは400人から600人に必ず一人は生まれるということです、この病気をもった子供が生まれた場合は、残りの599人の親は病気の子供をもたなくて済む訳です、社会というのは誰かが大変なことを引き受けてくれる時には他のみんなが助けあって暮らすという事が重要なのだと思います。自分がひよとしたら、この一人になっていたかも知れないと考えて助け合って暮らすのが社会であると思います。

<第2部>

◎活動報告 テーマ「小児がん征圧支援活動の実際」

司会 夏ひろこ

講師 (財)がんと子供を守る会 近藤 博子氏

講師 清水康子「ひとつの会」 清水 康子氏

がんと子供を持つ親をサポートする会です、子供が重篤な病気になった時、親は頭が真っ白になってしまうと思います、40年前からこのような親をサポートするために発足、活動しております。

この私たちが支援してくれる方々もたくさんいます。さまざまな方々に応援をして頂いておりますが、次にお話をさせて頂きます清水康子さんも「歌」で応援をしてくださっています、このような支援が大きな励みになります。本日はこんなに大勢のかたのいるロータリーの皆様が私たちを支援して下さいまして心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

◎「天使の泉」チャリティ・コンサート in ロータリー

歌：清水 康子氏



◎所感 坂本 俊雄ガバナー

◎閉会点鐘 ガバナー補佐 赤尾 恭雄

<懇親会>

◎司会 海野 榮一、伊澤ケイ子

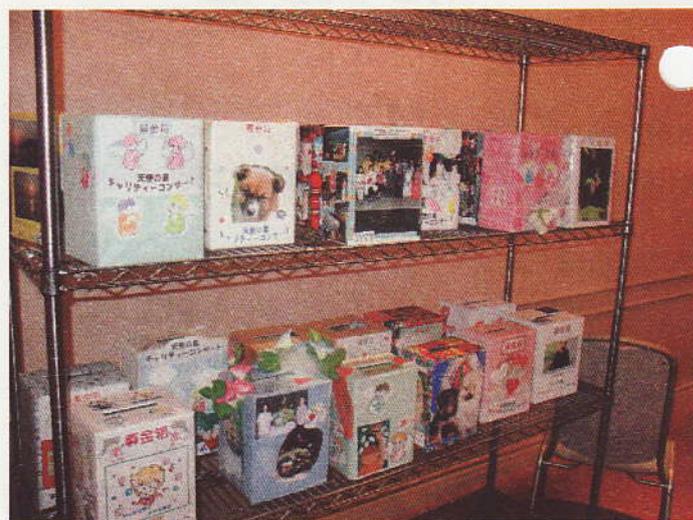
◎開会挨拶 IM 実行委員長 藤本 吉文

乾杯 進藤 信之ガバナーエレクト

◎寄付金贈呈 ガバナー補佐 赤尾 恭雄

* 清水康子「ひとつの会」 200,000 円

* 毎日新聞東京社会事業団(財)がんと子供を守る会 263,315 円



◎閉会挨拶 IM 実行副委員長 菊池 敏

♪ロータリーソング「手に手つないで」♪

ソングリーダー 菊池 敏

【委員会報告】

◎出席報告 出席奨励委員会 菊池 敏

会員総数 36名

出席義務者数 35名(出席免除者1名)

出席者数 28名

欠席者数 7名(事前MU0名)

出席率 80.00%

補填MU：なし

10/10 最終訂正出席率 77.14%

(今週の担当 小泉 博)